

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	パラディン	Lv.1:	アコライト	レベル	12
サポートクラス	ウォーリア	Lv.1:	サロゲート	性別	男
称号クラス				年齢	26
種族	グライアイ			境遇	
出自 (効果)				目標	

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	24	19	10	8	9	27	12
ボーナス	8	6	3	2	3	9	4
クラス修正	2	2	2	0	0	2	0
他修正						7	
能力値	10	8	5	2	3	18	4

HP	123
MP	119
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ミスリルピック	5 m	0	11	0	0	0	-1	0
左手	セイントシールド		0	0	0	8	0	-3	0
頭部	守護の輪					5	5		
胴部	アーキバスアーマー				-1	11			-2
補助	ダイアポイントアーマー				-1	7			-1
装身具	豊穡の花冠								
能力値			8	0	5	0	18	8	15
スキル	アンリミ+AM (命中 1 d)						2		
その他						2	2		10
総計(右)			8	11					
総計(左)			8	0	3	33	27	4	22
総計(両)									m
ダイス数			3 d	3 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ハイMP	転送石
ハイMP	消費ハイMP* 4
ハイMP	ハイMP
ハイMP	
ハイMP	
ポーションホルダー	売却
冒険者セット+バックパック	クリスタル(精神)
万能薬	クリスタル 司祭
ハイHP×4	クリスタル 飛行
	売却
転移の呪符	売買あなあげ

現在重量:	14
最大重量:	24
所持金:	14760
預金・借金:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ストレージアーム	★		P					
効果:	白兵攻撃の射程が5 mまでになる。							
プロテクション	5	2	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果:	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
ホリボン	5	3	M	20m	単体	魔術判定		
効果:	武器攻撃のダメージに+15							
マニフィカート	1	5	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	ホリボンと同時に使用。攻撃の命中判定に+1d							
ヒール	1	3	M	20m	単体	魔術判定		
効果:	3d+cl×3							
クイヒ	1	4	I	-	自身	自動成功		
効果:	ヒールが使える。							
ハンマーストライク	1	4	M	武器	単体	命中判定		
効果:	バッシュもどき							
アフェクション	1	-	DR直後	20m	単体	自動成功		
効果:	むこー							
トリプルアンダーベネディングジョン	1		アフェクション					
効果:	《アフェクション》の射程を射程: 視界、対象を場面 (選択) に変更する。シナリオ1回。							
	1							
効果:								
アタックハイロウ	5	10	set			魔術判定		
効果:	攻撃のダメージに+15する。							
ホーリースマイト	1	4	m			自動成功		
効果:	ダメ+3、妖魔・魔獣・魔族なら更に(精神)							
ディバインスマッシュ	1	4	m			自動成功		
効果:	ダメ+3、アンデット、人造生物、機械なら更に(精神)							
	1							
効果:								
ソウルバスター	1		効果参照			自動成功		
効果:	自身が受けたダメージと同じ分だけ相手のHPロス							

プロテクション2ホリボンアタックハイロウ2ストレージアーム

彼は生まれた時からグライアイだった。正確には自我が芽生えたころには既にグライアイだった。グライアイである彼は人間というものに憧れを抱いていたが、人間から畏怖されている存在なのではないかと考えていた。そこである日、一つの信託? (依頼) が下った。それは、現在アースランで起きている自体が深刻なものであることを聞き、その密偵をしてほしいとのことであった。人里に出ることが叶うと思いきや後にしてアースランに向かった。その後はグローヴィスの願いを受け、セルノグの周辺をうろついていた際に声がかかった。それは彼の意味するところの新たな神? の命令 (信託) と考えた。その名に従い、彼は妖魔としてではなく人間のして生きる道を探して再び度立つ。その地はアースランとは全く違うエリンドル東方大陸というものであった。



